

施 政 方 針



▲議場で施政方針演説を行う三好町長

大磯を元気に!!

三好町長は2月19日の町議会本会議において、平成22年度の施政方針演説を行い、昨年度に引き続き、元気な大磯の実現に向けた決意を表明しました。

施政方針の詳細は町民情報コーナー、町ホームページで閲覧できます。

◎問い合わせ 政策課 ☎内線204

町政運営の基本的な考え方（抜粋）

重点的な取組み

一昨年に始まった世界同時不況の影響が本町にも及び始め、町の財政状況はより厳しさを増しています。

そのために町では、第4次行政改革大綱や財政健全化計画のもとで引き続き徹底した行財政改革を推進し、限られた人材・財源を有効に活用し、これまで重点的に取り組んできた「環境」「観光」「教育」の三本柱(3K)に加え、平成22年度は「防災」も重点施策に位置づけ、積極的に事業を推進していきたいと考えています。

町政を取り巻く社会経済情勢は予断を許さない厳しい状況ですが、新年度は私にとりまして4年目の総括の年でもあり、私が就任以来目標に掲げてきた「大磯を元気に！」の実現を目指し、全力で取り組みたいと考えています。

環境対策は、「エコの町大磯」を目指し、バイオ

マスタウン構想を掲げごみの減量化・資源化を推進するとともに、町民の皆さまのご理解とご協力のもとで、里地・里山保全や遊休農地・荒廃農地の解消に向け取り組みます。

観光は、「夢のある観光立町」を目指し、「海の駅」を中心とした大磯港を拠点に、「陸(おか)の駅」計画へとつなぐ本町の歴史的・文化的資産や豊かな自然を観光資源としてネットワーク化し、体験型観光の企画・立案を推進します。

教育の分野では、学校施設の耐震化が全て終了しましたので、その他の教育環境の整備を順次進めます。また、幼児教育では民間の活力・ノウハウを積極的に活用し、多様な教育環境の

提供について取り組みます。



▲防災体制強化のため導入した消防車両

防災は、地域防災体制を強化する必要があり、防災計画全体を見直すとともに、消防分団の小型動力ポンプ付積載車や街頭消火器を計画的に更新し、防災体制の維持確保に努めます。また、防災を含めた危機管理体制を充実強化するため、防災対策室の名称を「危機管理対策室」に改めます。

【主な事業は3ページに掲載】